

- 1 主題名 しょうじきな心
- 2 教材名 「ぼくはMVP」＜出典：光文書院＞
- 3 主題構成表

<p>■ 内容項目 B 正直 誠実</p> <p>過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。</p>	<p>■ 内容項目から見た児童の実態（意識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うそやごまかしはいけないことは分かっているが、正直に話したり、素直に謝ったりすることがなかなかできない。 ・正直に行動できれば心が晴れ、明るくなることを体験し、理解しているが、常に弱い心に打ち勝っていくという勇気をもつことはなかなかできない。 <p>■ 意識の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正直に言えば叱られるかもしれない、友達から嫌われてしまうかもしれないなどと考え、自分の保身に走る甘さがあるため、過ちを改められない。 ・正直に行動するためには、心の弱さを克服していく勇気が必要であるが、自分を正す方向ではなく、楽なほうへ流れてしまいやすい。 	<p>■ 教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級のみみんなでドッジボールをしているときに、相手の投げたボールが自分の膝のあたりをかすったが、誰にも気付かれずに試合が進んで行く。主人公は、自分から外野に出るかどうかが迷うが、友達の声に促されてゲームを続けていく。それどころか、自分の活躍で大逆転してしまい、みんなに「今日のMVP、こうちゃん」ともてはやされた。しかし、とんでもないことをしてしまったと気が重くなるという内容である。 ・誰もボールがかすったことに気付いていないし、黙っていれば分からないとは思いつつも、正直に言うべきかどうか葛藤する主人公に自分を重ね、揺れ動く心を考えさせることができる。 ・「きょうのMVP、こうちゃん」と言われ、みんなが大喜びしている中で、一人気が重い主人公が、その後どのように行動していくかを考えさせることで価値の理解を深めることができる。
<p>ねらい</p> <p>みんなが大喜びしているときの「こうちゃん」の気持ちを考えることを通して、自分に不利であっても正直に本当のことを言うことの大切さに気付き、明るい心で元気よく生活しようとする心情を育てる。</p>		
<p>■ 研究内容にかかわって</p> <p>〈Ⅱ－①価値への方向付けと問題意識を引き出す導入の工夫〉</p> <p>ドッジボールでの実体験から、トラブルになる場面についてまとめたアンケート結果を見て、自分ごととして感想を出し合うことにより価値への方向付けを図る。</p> <p>〈Ⅱ－③自己の生き方について、考えを深める展開後段・終末の工夫〉</p> <p>主人公に手紙を書くことを通して、今までの自分を振り返り、正直に行動することの大切さとこれからの生き方について考えることができるようにする。</p>		

4 学習指導過程

避	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. アンケートの結果から自分たちの様子を知る。 ○ドッジボールでのトラブルについて実施したアンケートの結果を見て、自分たちの実態を知る。</p> <p>2. 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>正直に行動するとどんなよいことがあるかを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートの結果から、ドッジボールでのトラブルについての結果を見て、児童の実体験を表出させ、本時の課題へと結び付けていく。（自己理解・他者理解） ・ボールが自分の膝をかすったのに、「こうちゃん、うまい」という仲間の声かけで、外野に出ずにそのまま試合を続けてしまった主人公の行動について話し合うことを確認する。
展開前段	<p>3. 資料「ぼくは、MVP」を読んで話し合う。 ○ただしくんの声を聞いて、またゲームに参加したぼくは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれも当たったことに気付いていないから・・・。 ・相手チームが何も言っていないから大丈夫かなあ。 ・ぼく、本当は当たったのに、いいのかな。 ・やっぱり、当たったことを自分から言ったほうがいいかな。 <p>○「今日のMVP、こうちゃん」と言われた時、ぼくはどう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当のことが分かったら、みんなに責められる。 ・どうしたらいいんだろう。 ・気が重い。いまさら言っても迷惑になる。 ・あの時、正直に言えばよかった。 <p>◎ぼくは、これからどうするのでしょうか。</p> <p>「このままだまっていたら・・・」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつまでも気持ちがすっきりしない。 ・ますます暗い気持ちになる。 ・うそつきの自分がいやだ。 <p>「正直にみんなに話したら・・・」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなからどんなふうに思われるかな・・・。 ・気持ちがすっきりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>正直に行動すると心が軽く、すっきりする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくの行動について気になったところに線を引かせる。 ・本当は、正直に言わなければいけないのに、仲間からの声かけでそのままゲームを続けた主人公の甘さや弱さに共感させる。（人間理解） ・言いたいけど、今さら言えば、みんなに責められたり信頼を失ったりすることが嫌だという気持ちがあることに気付かせる。（他者理解） ・「でも」という言葉から、本当のことを言いたい気持ちでいることに目を向けさせる。 ・意図的指名をして、主人公の気持ちを考えさせていく。 ・正直に謝った経験や謝れなかった経験を想起させ、正直に話すことでしか重い心を晴らすことができないことに気付かせていく。（価値理解） ・過ちや失敗をごまかさないうで、自分の心に正直に行動することで、自分も周りも気持ちよく生活していくことにつながることを感じさせる。
展開後段	<p>4. 自分とつなげる。 ○今までに正直に行動できたことやできなかったことはありますか。そのことについて今どう思いますか。主人公に手紙を書きいてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、前にドッジボールをしていたとき、こうちゃんと同じように、ボールが当たったけどだまっていたことがあるよ。でも、正直に話せばよかったと思う。 ・私は、健康観察カードに書いてないところがあったのに、点検する先生に言われなかったので、そのままにしまいました。ちゃんと保健の先生のところに行けばよかったと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験や生活の中でのいろいろな場面について考えながら、主人公に手紙を書くように助言する。
終末	<p>5. 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の手紙を紹介する。

